

京都市立芸術大学音楽学部同窓会

真声会

会報 第57号

2013年10月25日発行

京都芸大音楽学部創設60周年を終えて

真声会会長 大村 益雄(1期・作曲)

大きなうねりとして、文化、芸術の伝達手段は常に変わってきています。昔は、生演奏が唯一の音楽伝達手段でしたから、それに適合した音楽家や演奏家が社会から要求されてきました。今では、録音、録画、放送、高速回線によるオンデマンド、など、あらゆる手段を使って、文化や芸術が複合的に伝達されています。

私事になりますが、今年、小学校1年生になった一番末の孫娘が、「おじいちゃん」の私に、携帯電話(スマート・ホン、スマホ)のゲームを教えてください。主に3種類あって、機敏な反応が要求されるアクションゲーム、知恵の輪的に物事を解決する思考ゲーム、漢字の筆順を覚えるなどの学習ゲーム、です。日頃はスマホを持たせてもらっていないくて、夕方の特別の時間帯に母親のスマホを借りて遊んでいるようです。アクションゲームは、毎回、いつでも、勘の悪い私の負けです。思考ゲームは、私なりの考えで問題を解こうとしますが、少し苦しむと、幼い孫が解決手段の検索機能を使って、答えを見つけ出してくれます。漢字の筆順は、画面をなぞって間違った記入を行うと、直ぐに訂正が出ます。迅速、正確、大変有用な教育プログラムです。昔は、テレビ・ゲームがありましたが、今は、スマホ・ゲームです。しかも、これらのゲームは、無料のアプリを使って遊べるようで、小さな子ども達にまで、遊び方、楽しみ方、生活習慣に変化が見られます。

10年前は電車の中で本を読んでいる人が多かったのですが、今は、携帯を見ている人が多いと思います

す。電話として使っているのではありません。コミュニケーションの道具として使っています。多いときは、10人中7人までが、黙々と携帯を触っています。常に情報を発信したり、情報を得たりして、生活をエンジョイしているのだと思います。ゲームをして遊んでいるのかもしれませんが。紙の本を読んでいる人は、10人中僅か1人か2人でしょう。

先日、喫茶店に入って休んでいたら、隣に一人の若い娘さんが座り、ケーキを食べお茶を飲みながら、おもむろに携帯をバッグの中から取り出し、やおらテーブルの上に立てかけて、イヤホンで音を聞きながら、にこやかにスマホの画面を見ていました。その態度が気になるのでそっと覗いてみると、美しいカラーの音楽レビュー舞台画面を楽しんでいました。一時間ほどリラックスしたその娘さんは、さりげなく、その店を出て行きました。オシャレな服装、日常的な振る舞い、現代社会の、グループ的価値観から一步離れた、個人的エンジョイの方法、若い世代の価値ある生活態度の一端を見た感じがしました。

「アラブの春」と言われている、2010年から、2012年にかけてアラブ世界で発生した反政府運動は、この携帯に始まるコミュニケーション機能が、民衆の気持ちを統合する大きな引き金となりました。膠着していた政治を動かしたのです。このコミュニケーション手段が更に広がれば、国境とは何か、民族とは何か、国家とは何か、文化とは何か、という社会変革をも引き起こすことになるでしょう。

この「スマホ文化」は、ここ数年の間に人々が作り

上げてきた新しい文明です。この変化のスピードには目を見張るものがあります。これらの社会変化は携帯電話だけの話ではありません。これからの音楽家の活動にも、大きなうねりと変化を見逃すことはできないでしょう。音楽家が、この大きなうねりと変化を作り出していく必要があるのです。自分が芸術家であるという自負心、自尊心のもとに、「武士は食わねど高楊枝（武士は貧しくて食事ができなくても、あたかも食べたかのように楊枝を使って見せる。このことから、武士の清貧や体面を重んじる気風を言う。やせ我慢をすることにも使われる。）」的に過ごす音楽家もあるでしょう。

しかし、今、各人が、修練していること、研究していること、表出したいと思っていること、などを、どのように社会の要求に合わせて表現していくかも、大切な「自己表現活動」だと思います。クラシック音楽の聴衆をいかにして増やしていくかという活動も、とても大切なことなのです。音楽社会を変革していくアクティブな表現や活動が求められているのです。幸い、京芸の卒業生は、世の中の要求に合わせて、広く社会貢献をしている音楽家が多いと思います。経験豊かな見習うべき先輩が多いのが実態です。しかし、組織としてみれば、「真声会の表現活動」を更に変えていかねばなりません。人々を楽しませ、変革を起こし、社会のお役に立つことこそが大切なのです。

総会報告

去る 7 月 7 日（日）午後 5 時から 2013 年度の真声会総会が、京都コンサートホール 1 階レストラン「ラ・ミュージ」で開かれました。当日は午後 2 時から京芸第 143 回定期演奏会が開催され、とても熱のこもった感動的な演奏でした。その余韻漂う雰囲気の中、総会は開かれました。最初大村会長の開会の挨拶の後、大西副会長より総会成立確認が行われ、続いて議長に大富米里子さん（28 期ピアノ）が選出され、予定された下記の 6 項目の報告と議案が討議され、全項目が承認されました。

- (1) 事業報告及び活動報告（朴編集委員長報告）・大学の 6 0 周年記念活動は大学と提携をもって行った。

・充実した会報となってきた。・拡大運営委員会はほぼ毎月行われた。その結果色々な意見が出、改善出来る事が多くあり、充実した活動となった。・3 月 25 日の卒業式にあわせて新名簿を発行した。

(2) 会計報告・・・3 ページに掲載（佐藤会計担当役員）

(3) 会計監査報告・・・3 ページに掲載（樋上監査役員）

(4) これからの事業および活動方針（大村会長・朴編集委員長）

・将来ビジョンについて、朴役員より報告が行われ、補足の説明などが大村会長から説明され、承認された。

(5) 2013 年度予算案について・・・3 ページに掲載（佐藤会計担当役員）

(6) 真声会の社会貢献について（自由討議）
- 続いて京都、滋賀、大阪、奈良、中部各支部報告が行われ、総会は無事終了しました。
- 総会終了後、恒例の懇親会が行われ、みんなで、心づくしのお料理を食べながら、久しぶりにお会いする先輩・後輩達と楽しいひとときを過ごしました。
- さて、昨年、京都市立芸術大学は音楽学部創設 60 周年を終え、多くの記念行事が行われました。それに伴い、卒業生の多くから、これらの記念事業のために価値ある寄付金が寄せられ、母校芸大から真声会に対して、立派な感謝状をいただきました。大学の、このご配慮に厚くお礼を申し上げます。そして、昨年来、学校法人化された京芸の運営部門とも、様々な将来構想について逐次の話し合いを持つなど、更なる協力関係を深めております。
- 真声会として、会員相互の連絡、親睦、協力関係を更に深めていくための組織内活動と共に、今後は、対外的な社会活動にも目を向けていく必要があります。60 年を経て、真声会会員も、親、子、孫、の 3 世代に及び、年齢的にも、上は 80 歳を超えるオール・ジェネレーションの組織となりました。そのため、対外的活動を専断的に行う担当役員制度を設ける必要があり、今年度、来年度にかけてその準備をしていくように、今の真声会役員の間で話し合っています。具体的な方向が出てきましたら、順次、各役員からお伝えをしていきたいと思っています。
- 時代の流れと共に変化を求めてきた 60 周年を終え、「真声会の次のステップ」へ向かって、大きなうねりと変化を起こすべく、慎ましく、そして、果敢に取り組んでいきたいと考えております。
- 2012 年度 会計報告（2012 年 4 月 1 日～ 2013 年 3 月 31 日）
- | 収入 | | | 支出 | | |
|-----------|-----------|------------|----------------|------------|------------|
| 内容 | 内訳金額 | 合計金額 | 内容 | 内訳金額 | 合計金額 |
| 前年度繰越金 | | 23,557,134 | 援助金 | | |
| 今年度会費収入 | | | 支部援助金 | 1,041,000 | |
| 入会金（69 名） | 1,050,000 | | 芸大演奏旅行 | 100,000 | |
| 会費 | 2,680,000 | 3,730,000 | コール真声会 | 26,000 | 1,167,000 |
| 受取利息 | | | 印刷費 | | |
| 郵便貯金 | 265 | | 大光社（名簿） | 1,828,200 | |
| 銀行預金 | 2,066 | 2,331 | 大光社（会報、その他） | 895,165 | |
| 総会パーティー費 | | | アール工房（会員証、その他） | 76,335 | 2,799,700 |
| 会費収入 | | | 通信費 | | |
| 雑収入 | | | 大光社分 | 820,941 | |
| | | | 電話代 | 20,813 | |
| | | | 特別割引郵便費 | 264,643 | 1,106,397 |
| | | | 会議費 | | |
| | | | 総会 | | |
| | | | 役員会、理事会 | 0 | |
| | | | その他 | 165,370 | 165,370 |
| | | | 交通費 | | |
| | | | 役員会、理事会 | 190,740 | |
| | | | その他 | 0 | 190,740 |
| | | | 人件費 | | |
| | | | 事務費 | 670,000 | |
| | | | 名簿管理費 | 0 | |
| | | | コンピュータ管理費 | 140,000 | 810,000 |
| | | | 備品購入費 | | 25,100 |
| | | | 雑費 | | 0 |
| | | | 消耗品 | | 36,249 |
| | | | 手数料 | | 2,100 |
| | | | 慶弔費 | | 0 |
| | | | 京都市芸術文化協会年会費 | | 10,000 |
| | | | 入会金二重払い分払い戻し | | 0 |
| | | | 会費二重引き落とし分払い戻し | | 16,400 |
| | | | 銀行手数料（南都銀行） | | 84,787 |
| | | | 今年度支出合計 | | 6,413,843 |
| | | | 次期繰越金 | | |
| | | | 郵便貯金及び銀行預金 | 20,064,063 | |
| | | | 現金 | 811,559 | 20,875,622 |
| 総計 | | 27,289,465 | 総計 | | 27,289,465 |
- 財産目録
- | 種類 | 残高 | 品目 | 購入 | 価格 |
|------------|-----------|-------------------|------------|---------|
| 郵便定額貯金 | | ONEC VALUESTAR 一式 | 2004 年 3 月 | 464,646 |
| 郵便貯金総合通帳 | 812,368 | NEC Lavie 一式 | 2004 年 3 月 | |
| 郵便振替口座 | 220,000 | エプソン／LP－6100 | 2004 年 3 月 | |
| 南都銀行定期預金 | 5,028,180 | NEC VALUESTAR 備品 | 2004 年 3 月 | |
| 南都銀行普通預金 | 8,811,197 | SONY VAI0 一式 | 2008 年 1 月 | 167,000 |
| 三井住友銀行定期預金 | 5,192,098 | | | |
| 三井住友銀行普通預金 | 222 | | | |
- 2012 年度「真声会」収支決算報告については、以上のとおりです。2013 年 3 月 25 日
会計 佐藤敏子 監査 樋上由紀
以上の報告に相違ないことを認めます。
会計監査 伊吹元子 監査 樋上由紀
-
- 総会にて、会計関連報告をする佐藤敏子（17 期）さん「右」と、樋上由紀（19 期）さん「左」。
-
- 昨年の音楽学部創設 60 周年記念事業のために多額の金額が寄付されたことに対し、本年 6 月、京都市立芸大から真声会に対して感謝状が贈られました。
- 2013 年度 予算案
- | 収 入 | |
|-----------------|--------------|
| 内 容 | 2012 年度予算(案) |
| 会費納入 入会金 | 1,050,000 |
| 会費 | 2,600,000 |
| 受取利息 郵便定額貯金満期 | — |
| 郵便貯金 | 1,000 |
| 銀行預金（定期・普通） | 10,000 |
| 総会パーティー費 会費収入 | 70,000 |
| 広告料 大光社（名簿に掲載分） | — |
| 人件費補助（教員互助会等） | — |
| 雑収入 | — |
| 総計 | 3,731,000 |
- | 支 出 | |
|----------------|--------------|
| 内 容 | 2013 年度予算(案) |
| 援助費 計 | 1,300,000 |
| 内訳 支部援助金 | 1,174,000 |
| 芸大演奏旅行 | 100,000 |
| コール真声会 | 26,000 |
| 芸大定期演奏会 | 0 |
| 印刷費 計 | 1,500,000 |
| 内訳 大光社（会報その他） | 1,500,000 |
| 大光社（名簿） | — |
| 会員証 | — |
| 通信費 計 | 1,000,000 |
| 内訳 大光社分 | 900,000 |
| 同窓会室電話代 | 20,000 |
| その他 | 80,000 |
| 会議費 計 | 300,000 |
| 内訳 総会費 | 150,000 |
| 役員会、理事会 | 100,000 |
| その他 | 50,000 |
| 交通費 計 | 150,000 |
| 内訳 役員会、理事会 | 100,000 |
| その他会議 | 50,000 |
| 人件費 計 | 500,000 |
| 内訳 同窓会室事務費 | 450,000 |
| その他 | 50,000 |
| 備品購入費 | 30,000 |
| 雑費 | 10,000 |
| 消耗品 | 30,000 |
| 手数料（振込等） | 1,000 |
| 慶弔費 | 10,000 |
| 入会金二重払い分払い戻し | 0 |
| 会費二重引き落とし分払い戻し | 0 |
| 銀行手数料（南都銀行） | 100,000 |
| 京都市芸術文化協会年会費 | 10,000 |
| 予備費 | 50,000 |
| 小計 | 5,000,000 |
| 次期繰越金 | — |
| 不足金 | 1,269,000 |
| 合計 | 3,731,000 |
- 京都市立芸術大学音楽学部 60 周年記念事業 収支報告
- | 収入 | | 支出 | | |
|----------|-----------|-----------------------|-----------|-----------|
| 内容 | 合計金額 | 内容 | 内訳金額 合計金額 | |
| 寄付金 | 1,593,000 | 京芸記念演奏会補助金 | | 1,070,660 |
| レセプション会費 | | レセプション費 | | |
| 真声会会員 | 406,000 | ホテル会場代 | 545,644 | |
| 京芸関係者 | 279,000 | 会場設営費（ピアノ、看板など） | 96,600 | |
| | | 招待費（美術学部、現役学生） | 140,000 | |
| | | 印刷費（ハガキ、寄付依頼文、封筒など） | 141,046 | |
| | | 消耗品代（目録、名札代など） | 7,380 | |
| | | 返信ハガキ受取人支払い | 51,890 | 982,560 |
| | | 記念座談会冊子印刷費 | | 54,810 |
| | | 名簿（60 周年のため特別にかかったもの） | | |
| | | 各年度委員への校正印刷費 | 126,000 | |
| | | 校正通信費（レターバック代） | 150,000 | |
| | | データ入れ替え作業代 | 63,000 | 339,000 |
| | | ゆうちょ銀行 | | |
| | | 口座受取手数料・振込料 | | 32,390 |
| | | 口座番号印字サービス | | 7,200 |
| 総計 | 2,278,000 | 総計 | | 2,486,620 |
- 不足分の 208,620 円は、130 周年の寄付残額（574,330 円）の中から充当しました。最終残額 365,710 円は芸大図書館の協力費、社会貢献拡充のための活動費などに充当するため、すでに設けられている寄付金特別会計に蓄えておき、有効に使わせていただきます。
- 京都芸術大学音楽学部60周年記念事業収支報告については、以上のとおりです。2013 年 6 月 25 日
会計 佐藤敏子 監査 樋上由紀
以上の報告に相違ないことを認めます。
会計監査 伊吹元子 監査 樋上由紀

真声会と京芸事務局・美術学部同窓会との話し合い

真声会編集委員長 朴 実 (12 期・作曲)

真声会はこれまで大学事務局とあまり接触を持っていませんでした。しかし大学と我々同窓生は本来強いつながりを持ち、大学での同窓会の位置付けや、役割などを確認し合い、お互いに協力関係を築かなければなりません。その第一歩として真声会の申し入れで、9 月 2 日 (月) 真声会役員と大学事務局の正式な話し合いを行いました。

真声会からは、大村益雄会長、松本真理子副会長、将来ビジョン検討委員会の朴実、青谷哲也、中村公俊、真声会と大学のリエゾンとして、山本毅学部長、中村典子准教授が出席。大学事務局からは、廣野貴夫事務局長、南寛教務学生支援室長、天沼 憲総務広報課長、森 重樹教務学生課長、増井 薫事業推進課長が出席されました。話し合いの主な内容は、

大学側から

- ・1 年半前に、学生の卒業後も 5~6 年のフォローをするためにキャリアアップセンターを起ち上げたが、未だ十分に機能していない。今後は知名度を上げてこれを生かしていきたい。
- ・真声会事務局を町中に置いた方がよいのではないか。
- ・アートマネージメントなど、人的ネットワークで協力して欲しい。例えば、演奏を求めている人と、演奏をしたい人を繋ぐ役割を担ってほしい。

真声会側から

- ・最近は大学を卒業しても社会で活躍する場が少なくなってきた。社会とどのように繋がるか、お互い組織的にサポートする必要がある。
- ・事務局を町中に置くのは考えたい。将来的には同窓生のネットワークを通じ、人材バンクなどを考えて協力して行きたい。
- ・京都駅近辺への移転の話が出ているが、これを機に大学の中に同窓生会館を設置し、大学、学生、卒業生が一带となって、社会に貢献していける体制を作るべきだと思う。

そして真声会と大学事務局は、今後、年に 1~2 回このような会合を持ち、時には真声会の会議に大学側も参加して頂き、協力していくことを確認しました。早速翌週の 9 月 10 日 (火)、真声会の将来ビジョン検討委員会 3 名 (朴、青谷、中村公俊) と森大学教務学生課長他 6 名で、以下の議題について話し合いました。

1. 前回合同会議 (2013 年 9 月 2 日) での協力関係の再確認
2. 協力関係に入る為の「共通目的」の合意
 - ・京芸移転に関して、学生支援に関して、卒業生支援に関して
3. 大学事務局と真声会の相互理解
 - ・真声会の運営実態の説明、大学側の学生・卒業生支援の運営実態の説明
4. 将来ビジョンについて
 - ・大学側のビジョン、真声会の将来ビジョン

移転問題については、大学事務局から次のようなコメントがありました。

大学の移転は、本学の要望を受け、京都市において検討されているところであり、決まったわけではない。大学の移転には、多額の税金が必要であり、市民の理解は不可欠である。同窓会の皆様には、市民理解を得るための取組や寄付の収集等に御協力をお願いすると思うが、具体的な連携は、市で正式に決定された後になる。

移転について、私たちは京都市の正式発表があれば、それを受けて移転に協力していきたいと思います。

今後、定期的にこのような会議を行うことや、フェイスブック、ホームページなどを通じて情報交換をしていくことを確認しました。

○美術学部同窓会「象 (しょう) の会」との話し合い

また、真声会では今後美術学部の同窓会とも協力関係を持ちたいと考え、10 月 10 日 (木) 大学同窓会室で朴実役員と、美術学部同窓会「象の会」役員 (学内代表幹事・小山格平美術学部長、学外代表幹事・野崎邦雄、事務役員・開本恭子の各氏) と情報交換を行い、11 月下旬頃、役員会同士の交流会を行うことを決めました。

京芸キャリアアップセンターのご案内

京芸が 2012 年 4 月に設立した「キャリアアップセンター」では、在学生・卒業生のキャリアサポートの充実を図っています。真声会としても、今後、卒業生の皆様と学校を繋げるため、キャリアアップセンターを含めた大学組織との連携を考えております。

2012 年度の活動について

芸術活動支援では、「現代をたくましく生き延びる」をテーマに、外部講師や卒業後 10 年が経った京芸生など“たくましく生きる”方を招いた講演会やパネルトークを開催しました。就職支援では、他の芸術系大学との合同企業説明会を実施。ハローワーク若年相談コーナー担当者と連携した就職相談、セミナーも始めました。

その他、「確定申告入門講座」、「芸大生のためのライティング講座」など実践的なセミナーの開催も行いました。また、在学生、卒業生や教職員が交流する場として、芸大祭で模擬店「キャリアアップセンターカフェ森」を出店しました。

2013 年度の活動について

「現代をたくましく生き延びる」のテーマはそのままに、芸術活動支援、就職支援とも前年の活動に加え、在学生、卒業生へ向けてさまざまなアプローチを考え、実施しています。また、今年度から、音楽のアドバイザーが依頼演奏をコーディネートすることにより、在学生・卒業生の研究発表の場の提供を行っていきます。

2013 年度の主な予定 (実施済みも含みます。)

- 7 月から 10 月 文章作成講座 (全 3 回)
- 8 月 10 日・11 日 レクチャー&ワークショップ「ナリワイをつくる」
- 9 月 27 日 性格検査—自分への理解を深める—
- 11 月 2~4 日 芸大祭模擬店「キャリアアップセンターカフェ森」
- 12 月 10 年後の京芸生

キャリアアップセンターでは、キャリアサポートの充実に向けて、学外での活動の機会や就職に関する情報、学生とのランチミーティングの提案などなど、諸先輩方からの情報・御意見をお待ちしております。真声会の皆さまにおかれましては、真声会と学生とを繋ぐ大学内の窓口として、キャリアアップセンターを御活用いただければ幸いです。

[お問い合わせ]

TEL:075-334-2211

Mail:c-up@kcua.ac.jp

HP:http://www.kcua.ac.jp/career/

facebook:https://www.facebook.com/kcua.c.up

京芸友の会のご案内

京都市立芸術大学では、学生の活動、教員の教育研究活動等のより一層の充実や本学の新たな取組の更なる推進を図るため、平成 25 年 3 月、新たな寄付制度「京芸友の会」制度を立ち上げました。

一定以上の御寄付をいただいた皆様には、本学オリジナルカードをはじめ、様々な特典を進呈させていただきます。また、税額控除の優遇措置の適用をお受けいただけます。是非ともこの機会に本学への御寄付を御検討くださいますようお願いいたします。

お申し込みは、大学ホームページの「京芸友の会のページ (http://www.kcua.ac.jp/contribution/)」からお申込みいただくか、大学京芸友の会担当 (電話:075 - 334 - 2200 栗飯原 (あいはら)、藪木 (やぶき)) に御連絡下さい。

詳しくは、同封のリーフレットをご覧ください。

真声会からのお知らせ

真声会のホームページを是非ご覧下さい！

教員・演奏者等の求人募集情報や、後援演奏会情報を随時更新しております。また、過去の会報も見ることができます。どんどんアクセスして下さい。http://www.shinseikai-kcua.net/

真声会 Facebook ページが出来ました。 「いいね！」して下さい。

Facebook ページでは、年 2 回の会報ではお伝え出来ない、リアルタイムな情報をお知らせしています。ぜひ、「いいね！」して、同級生にも広めてください。

https://www.facebook.com/KCUA.AluminiAssociation.Shinseikai

同窓会室は月曜日に開いております。

音楽学部同窓会室は現在、月曜日、午前 10 時から午後 3 時まで稼働しています。

開室日：毎週月曜日 (10:00~15:00)

※年末年始、お盆、祝日及び学内立ち入り禁止期間 (入試等) は休室します。

電話番号 080-6185-4494

開室時間外でも、お電話を頂いた場合、留守番電話にお名前とご連絡先を録音して頂ければ、担当者よりご連絡いたします。ご用の際はお気軽にお電話下さい。

真声会会員のコンクール等受賞者

Claude Bonneton 国際ピアノコンクール

(平成 24 年 12 月 1 日 Conservatoire de Musique de Sete(フランス))

第 2 位，聴衆賞

2012 年 3 月修士課程ピアノ専攻修了 松尾 紗里

平成 24 年度京都市芸術新人賞

2005 年 3 月修士課程管打楽専攻 (Tp) 修了 菊本 和昭

第 12 回滋賀県新人演奏会

(平成 25 年 6 月 8 日 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール小ホール)

最優秀賞 声楽部門優秀賞

平成 25 年 3 月修士課程声楽専攻修了 下林 一也

第 32 回飯塚新人音楽コンクール

(平成 25 年 6 月 9 日 飯塚コスモスコモン (福岡県))

声楽部門 第 1 位

平成 17 年 3 月学部声楽専攻卒業 山本 康寛

第 32 回飯塚新人音楽コンクール

平成 25 年 6 月 9 日 飯塚コスモスコモン (福岡県))

ピアノ部門 第 3 位

修士課程 2 回生 (ピアノ) 木口 雄人

平成 25 年度大阪文化祭賞奨励賞

(平成 25 年 7 月 26 日)

入谷 幸子 (51 期 pf)

6 月 14 日いずみホールでのリサイタルの成果に対して。70 件参加、受賞 7 件の一つに選ばれた。

第 25 回宝塚ベガ音楽コンクール

平成 25 年 6 月 29 日 宝塚ベガ・ホール)

ピアノ部門 第 3 位

修士課程器楽 (ピアノ) 専攻 2 回生 大坪 健人

第 25 回宝塚ベガ音楽コンクール

平成 25 年 6 月 29 日 宝塚ベガ・ホール

ピアノ部門 第 5 位

博士 (後期) 課程 器楽領域 (ピアノ) 2 回生 泉 麻衣子

第 25 回宝塚ベガ音楽コンクール

平成 25 年 6 月 30 日 宝塚ベガ・ホール

声楽部門 第 2 位

平成 17 年 3 月 音楽学部声楽専攻卒業 山本 康寛

第 25 回宝塚ベガ音楽コンクール

(平成 25 年 6 月 30 日 宝塚ベガ・ホール)

声楽部門 第 3 位

平成 20 年 3 月 修士課程 声楽専攻修了 古瀬 まきを

第 23 回芥川作曲賞受賞 (サントリー芸術財団主催)

(平成 2 5 年 9 月 1 日発表)

酒井 健治 (45 期作曲)

「ヴァイオリンとオーケストラのための協奏曲」の作品に対して。

東京かつしか作曲コンクール

(平成 25 年 3 月 27 日 かつしかシンホニーヒルズ)

第 3 位，聴衆賞

修士課程 作曲・指揮専攻 (作曲) 2 回生 橋爪 皓佐

真声会「会費納入キャンペーン」実施中

真声会は、会員の皆様のご協力により、年 2 回の会報発行、名簿・会員証の発行、同窓会室の運営、各支部への援助金など、着実に活動を進めてまいりました。これらすべての事業運営活動を維持していくためには、会員の皆様の会費納入が唯一の資金となっております。

すでに会費を納めていただいている会員の皆様には、厚くお礼を申し上げますとともに、お知り合いに会費未納の方がいらっしゃいましたら、お声かけをよろしくお願いいたします。会費未納の会員の皆様は、是非この機会に会費を納入していただきますよう、お願い申し上げます。

会費は、郵便振替にて終身会費 50,000 円、または、銀行引き落としにて年会費 3,000 円となっております。

・郵便振替口座 01070-4-16071 真声会

青色の払込取扱票にて、最寄りの郵便局で納入ください。

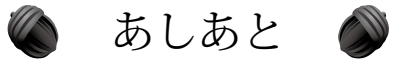
・銀行引き落とし 年会費を毎年 9 月に引き落としさせていただきます。

南都銀行の口座振替依頼書に銀行口座 (基本的にどの銀行でもよい) 等を記入いただき、お手続きください。用紙は同窓会事務室にありますので、いつでもお問い合わせください。

なお、会費納入状況につきましては、発送封筒の宛名の下に記載されております。ご不明な点は、同窓会事務室までお問い合わせください。(未納の方には会費納入用の郵便払込用紙を同封しております。)

皆様からの会費をより有効に活用していけるよう、本部役員一同、一層の努力をしてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

真声会本部役員一同



あしあと

今年 5 月以降以下の会議を行ってまいりました。

従来の拡大運営委員会に加え、将来ビジョン推進委員会の開催や、大学事務局との協力関係協議の会議も開かれました。

2013 年 5 月 30 日 (木) 18:00 ~ 21:00

ザ・パレスサイドホテル

第 18 回拡大運営委員会

出席者：(以下敬称略) 大村、大西、松本、佐々木、朴、金森、小川、三井、杉中、樋上、佐藤、中村公、中村典

議題：① 2012 年度の会計報告について

② 総会次第と役割分担について

③ 会報 56 号と発行に関連して

④ 今後の真声会の活動について

2013 年 6 月 12 日 (木) 12:00~14:00

将来ビジョン推進委員会第 1 回会議

出席者：朴、青谷、中村公

議題：① 組織について

② 真声会賞について

2013 年 6 月 25 日 (火) 18:00 ~ 21:00

ザ・パレスサイドホテル

第 19 回拡大運営委員会

出席者：大村、大西、朴、小川、杉中、土居、伊吹、樋上、佐藤、中村公

議題：① 2012 年度の会計報告について

② 総会次第と役割分担について

③ 将来ビジョン推進委員会について

2013 年 7 月 7 日 (日) 17:00 ~ 18:00

京都コンサートホール 1 階レストラン

2013 年度真声会総会

役員ほか (計 25 人)

議題：① 事業報告及び、活動報告

② 会計報告

③ 会計監査報告

④ これからの事業及び、活動報告

⑤ 2013 年度予算案について

⑥ 真声会の社会貢献について

2013 年 7 月 19 日 (金) 10:00~12:00

将来ビジョン推進委員会第 2 回会議

出席者：大村、朴、青谷、中村公

議題：① 業務上の問題点について

2013 年 7 月 30 日 (火) 18:00 ~ 21:00

ザ・パレスサイドホテル

第 20 回拡大運営委員会

出席者：大村、大西、松本、佐々木、朴、佐藤、樋上、佐渡、中村公、中村典

議題：① 2013 年度総会のまとめ

② 将来ビジョン推進委員会資料について

2013 年 9 月 2 日 (月)

真声会と大学事務局の話し合い

出席者：大学事務局、山本音楽学部長、真声会役員、中村典

議題：① 真声会と大学との協力関係について

2013 年 9 月 9 日 (月) 10:00~12:00

将来ビジョン推進委員会第 3 回会議

出席者：大村、朴、青谷、中村公

議題：① 組織・運営の見直しについて

② 支部について

③ 大学との連携について

④ 演奏会の後援に関して

⑤ ホームページ・facebook に関して

2013 年 9 月 10 日 (火) 10:00~12:00

大学事務局及び将来ビジョン推進委員会第 1 回会議

出席者：大学事務局より 10 名、真声会より朴、青谷、中村公

議題：① 大学との協力関係について

2013 年 9 月 19 日 (木) 18:00~21:00

ザ・パレスサイドホテル

第 21 回拡大運営委員会

出席者：大村、大西、松本、佐々木、朴、小川、佐藤、中村公、中村典

議題：① 会報第 57 号について

② 大学との話し合いの報告

③ 演奏会の後援について

④ 将来ビジョン推進委員会について

《 会 員 だ よ り 》

今号の会員だよりには 15 名の会員の方より寄稿いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

1 期 声 楽 齋 藤 眞 理 子

卒業して 60 年、結婚して金婚式もとっくにすぎ 60 年目に入りました。卒業してしばらくはレッスンを続けていましたが、親兄弟同居の大家族で家事と家業と子育てで 10 年余り音楽から遠ざかっていました。

1965 年に宇治へ引っ越し、73 年頃に古い友人に誘われてレッスンを受けるようになり 20 年余り続けました。今この年で歌って居られるのはこのレッスンのお蔭だと思っています。それと同時に女声コーラスに入り、これも 20 年程続けました。

今は「コール真声会」と混声合唱団二つに入っています。どこへ行っても最高齢ですが「元気やなあ」と言われ乍ら頑張ってますが、今年は大分身体にこたえるようになって来たので、少し減らそうかと思っています。

7 期 ピ ア ノ 坂 田 蓉 子

私が市立音楽短期大学を卒業してから、早や 52 年になります。年月の経つのが早いのに驚いてしまいます。

校舎は平安神宮のそばで、学校の中心部には武徳殿があり、その奥にレッスン用の個室が並んでいて、そこでピアノのレッスンを受けていました。他の大学と比べてキャンパスというには余りにもお粗末でしたが、音楽だけの単科大学というのはこんなものなのかと、それはそれで変に納得していました。

卒業した頃は、ヤマハや河合などの音楽教室がめざましい勢いで発展しつつある時期でした。私もヤマハで 3 ～ 4 年幼児教育に携わり、その後は、子育てしな

1 9 期 ピ ア ノ 石 井 友 子

京都芸大を卒業して早や四十年になろうとしています。四十年 !! という、何と長い年月。と思いますが、あの充実した四年間の大学生活の事は、今も鮮明に脳裏に浮かんできます。岡崎の辺りを通りますと、本当に懐かしい気が致します。

毎年、沢山の課題を出され、ソロ、コンツェルトと、オーディションや火曜コンサートで次々と発表しなければならず、毎日必死で練習していました。幸運にも入学以来、世界的ピアニストの先生に師事させて頂き、毎回厳しくも魅力あふれたレッスンをして頂き、一生

その他に一つの合唱団員の大方がボランティアでやってくれる H O T ふれあいサロンという所で、キーボードが入ったしちょっと来てと言われて行き、これも 10 年目になります。

これは月 2 回若い人から 96 歳まで集って来られ、おしゃべり・音読・体操・もの造りと色々特技を持ったボランティアがリーダーになり楽しんでもらってます。その前後にみんなで歌を歌われるので、伴奏をします。それとボランティアで合唱隊をつくり、年に何回か皆さんの前で聞いて頂きます。ここは家から一番近いし、何でもやる気充分の年上の方達に励まされ、楽しくお役に立てているので、もうしばらく続けようと思っています。

がら小学生や中学生の生徒さん達にピアノのレッスンをしておりました。その後子供の数が減り出し、おけいこ事の多様化もあり、子供達に教える事から離れ始めて、長い年月自分が自分のためにピアノを弾くことから離れてしまっている事に気がつきました。それで 12 ～ 13 年前から、同期の人達 7 ～ 8 人のグループに入れてもらい、1 ヶ月に 1 度皆で集まり、練習してきた曲を弾き、他の人達の演奏を聴きあうという生活をしております。

もうすぐ後期高齢者になろうとしている今です。で、いつ迄続けることが出来るかわかりませんが、体力的に無理になる迄、唯一の音楽とのかかわりとして続けていければと思っております。

懸命について行きました。毎日しっかりとした目標があり、努力の積み重ねの日々の思い出は、今も心の真ん中に宝物としていっぱい詰まっている気がします。

卒業してほどなく結婚し、子育て等に忙しく、たまにヴァイオリンの方とコンサートに出演しましたが、現在は家で生徒さんをお教えしています。息子達も大きくなり独立しました今、もう一度真剣にピアノに向かいたく思っておりました折、丁度、私宅の近所に、今をときめく横山幸雄先生がディナーコンサートを毎月なさるレストランが出来、そこへ何回か聴きに行っ

ている時に、直接先生とお話する機会があり、レッスンをお願いしました所、快諾して下さい、先日レッスンを受けて参りました。若い頃、しっかり勉強した事はよく分かります。と仰って下さり、京都芸大で鍛えて頂いたことを誇らしく思いました。

1 9 期 ヴ ァ イ オ リ ン 杉 中 富 久 子

わたしは只今、生前整理の最中です！ 2 年前に父が亡くなり母が引っ越すことになり、親の家を整理しました。そのとき、つくづく整理の大変さが身にしみたので、自分の子にはこのような大仕事を残してはいけないと思い、元気なうちに整理しようと決心しました。

洋服、写真、食器（これは難しい！）・・・とまでは、少しだけ進みましたが、楽譜、レコード・C D・・・この類が、さっぱりはかどりません。まず、卒業後 3 年間名フィルに在籍、その後、岩淵龍太郎先生のご指導の下 2 0 年近く京都室内楽協会をさせて頂き、その後 1 0 年近くデュオやカルテットの演奏会をして

2 2 期 声 楽 中 島 貴 子

私と音楽を繋いで来たものは、素敵な方達との出会い。まず、歌好きの母。遺品を整理していたら昭和 1 5 年初版のシューベルト歌曲集や欧州名歌集が出てきました。小学校 1 年生に YAMAHA 音楽教室に通い漠然とピアノの先生になりたいと思ったものです。声楽専攻ではありましたが、卒業後知り合いのピアノの先生が結婚されるので代わりをお願いされてそのままピアノの講師として生徒さんを受け持ち、それから河合楽器、ヤマハの講師として 2 5 年ほど仕事をさせて頂きました。たくさんの生徒さんに接することが出来今でも交流があります。

その間、フレデリカ・フォン・シュターデ歌唱のフォーレフランス歌曲に魅了され、胎教にと、フランス歌曲ばかり口ずさんでいました。フランス語の勉強は仕事と子育てで時間が少なく 2 人の子供のお稽古先の公文教室で送迎の傍ら自宅宿題のみで先ず文法を、それから日仏に通ったり致しました。鳥居晴子先生にこちらも故・古澤淑子さん創設 6 0 周年を迎えるフランス歌曲研究会を紹介していただきオーディションを受け現在も会の演奏会に出演しています。この時の会の代表の奨めで、ニース夏期講習で発声をこの会で出会ったロレーヌ・ヌバー先生のところに行くことになりました。この講習で「歌曲の演奏と解釈」授業を、前出歌手の伴奏者ダルトン・ボールドウィン氏がされ

還暦を過ぎた今、若い頃のような超絶技巧な曲ばかりではなく、年相応に柔軟な曲も取り入れて、ピアノを未永く楽しみ乍ら続けていきたいと思っております。

いました。また、それと並行して卒業後 3 5 年近くジュニアオーケストラを指導しています。その時の楽譜や録音記録など、(その上、旦那は吹奏楽もしているのでその楽譜なども)・・・それも、ほとんど整理されてない状態で・・・実は過去にも整理を試みたのですが・・・今回わかったことがあります！私には、整理する才能がない！と。

まだジュニアオーケストラは指導し続けているので、楽譜はどんどん増えていく予定です。でもこれが私が生きてきた証拠？私の子供たち、かさの高い財産を残してごめんなさい！

ているのを知らず目の前におられて驚きました。この夏はダメでしたがその後 3 回渡仏しニース散策も楽しみつつ暑い夏レッスンを受けたり聴講したり致しました。ここで高校時代歌唱で憧れのクリスタ・ルードヴィッヒさんに会えたのは嬉しかった。

第 11 期美山節子氏代表の京都フランス歌曲協会にも入れて頂き演奏会にも出させて頂いています。2009 年にはダルトン氏の伴奏でソロリサイタルが出来感激でした。子供が小さく留守は義母が見てくれました。叔父が美術学部名誉教授冬木偉沙夫さんであったり夫の実家環境が音楽美術に理解がありがたいへん有難い事でした。子育て中は、ママさんコーラス団員やヴォイストレーナとして参加し全国大会に出ました。オペラは諦めていましたが'モーツァルトオペラや邦人作品で大阪・京都・東京、海外巡演し、そうしているうちに首都オペラ (総監督 - 第 8 期永田優美子氏) に出会いオーディションを受けこちらのオペラにも出させて頂きました。

最初で最後にするつもりだった' 9 2 芸大同期・諸先輩に声かけ構成・出演・主催した普賢岳チャリティーコンサートから 2 1 年。今、また大学時代の師、蔵田裕行先生にレッスンを受け初心に戻り新たな自分の一歩にしたいと思っています。

2 5 期ピアノ 右近 恭子

今や伝説となってしまったあの岡崎学舎で、4 年間ピアノの園田高弘先生の元、厳しく仕込まれました。高い教養から発せられる先生の言葉は、当時半分も理解できませんでしたが、今でも音楽の方向に迷った時の指針となっています。

また当時の京芸には黒沼俊夫先生やヘリー・ビンダー先生などもおられ、「室内楽の京芸」と言われるような校風で、贅沢に室内楽を満喫させて頂きました。卒業してからは、ソロリサイタルを 1 5 回開催しましたが、リサイタルのパートナーとしての本番は、さらに回数を重ねています。

今年は 3 月に、1 年先輩の田中修二さんとの連弾リサイタル、1 2 月に 1 年後輩の坂本恵子さんとのピアノ 2 台リサイタルと、岡崎組ピアノ属で楽しく盛り上がっています。

そして、室内楽は私のライフワークとなっています。引退されたビンダー先生をヨーロッパにお訪ねし、今

2 8 期ピアノ 石毛 明生

早くも 3 0 年経ちました。大学卒業後直ちに高校の教員となりましたが、現任校は自分の母校ということもあって、愛着をもって毎日頑張っています。しかしすでに在職 1 5 年目となり、今年度限りで異動となる可能性が大了。大阪府教育委員会では例の体罰事件以後、長期にわたって同一校にいる教員を体罰を誘発する原因の一つととらえ (どういう根拠なのでしょう か? この理屈、わかりません)、重点的に異動させてゆく方針を強化しています。ちなみに私は体罰などやった覚えは無いのですが。

この間ずい分クラス担任も持ちましたし、生徒部長という役職も 3 年間やりました。そして音楽部 (合唱部) と吹奏楽部の指導を続けてきましたが、指導などという大げさなものではなく、常に生徒と一緒に音楽を楽しんで来ただけのように思います。それでも音楽部では、NHK や合唱連盟のコンクールで何度か大阪

34 期声楽 小玉 洋子

京芸に在学していたのはもう何十年前になりますでしょうか…

17 時に切れる音楽棟練習室の冷暖房にも負けず、21 時まで練習 (おしゃべり) していたことを懐かしく思い出します。悲しい事に、2 回生で専攻の先生がお亡くなりになりとても意気消沈したのですが、小室

年昇天なさるまで毎年のように親密にデュオを練習したのは、大切な大切な思い出です。最後の夏には、先輩後輩たちがたくさん集まってくださって、先生のお宅で「ビンダー音楽週間」を開催することができました。これは本当に大きな喜びでした。

また、2 9 期のクラリネット出身の夫 (松原央樹) と彼の同級生達を核に始めた室内楽のグループ「アフター・アワーズ・セッション」は、今年で結成 1 6 年になり、これまで毎年約 3 回の公演を催してきました。昨年には 1 5 周年記念コンサートをフェニックスで開催し、各方面から高い評価を頂きました。京芸出身メンバーは 2 2 期から 4 5 期までと幅広い年齢層、京芸以外の出身者も多岐にわたり、素晴らしい仲間達です。いつの日か私が弾けなくなる時が来ても、きっとまた新しい学舎の後輩たちが仲間になって続けてくれそうな気がしています！

府代表となって近畿大会に出場、テレビに出演という貴重な経験もさせて頂きました。

また自分に鞭打つ心算で (+ 認知症予防) 地元の 2 つの音楽団体にも所属し、時々はソロ演奏の機会から逃げないように努力したり、伴奏など頼まれたら極力引き受けるようにしています。とりわけ大阪市立大学合唱団フリーデでは 2 0 年以上にわたって定期演奏会等で伴奏を続けており、気がつけばこれまでに 4 0 以上の合唱組曲を伴奏していました。

このように常に若い世代と接してきたせいか、良く言えば「気持ちだけはいつまでも若い」、悪く言えば「いつまでたっても年齢相応の落ち着きが出て来ない」という人間になってしまいました。いつの間にか 2 人の娘も社会人となった今、ますます「3 0 年 1 日の如し」と感じています

彰子先生に救って頂き、大学院修了までとても濃い学生生活を送りました。

修了後はウィーンで 5 年間学び、帰国してから京都市立京都堀川音楽高等学校に講師として参りました。今は移転しましたが移転するまでは京芸の校舎の隣にありましたので、懐かしい学食に足を運びました

が、すでにお目当ての S ランチは消えておりました。私の在学中はお礼といえば S ランチの券でした。試験の伴奏のお礼や、論文の実験台になってくれた方々のお礼も S ランチの券でした。残念…。

私にとってここ数年で一番大きな出来事は、CM 出演 (声だけ) でした。第九のサビのメロディーに指揮棒がとても長く伸びていく CM です。声楽をやってて

4 0 期ヴァイオリン・4 5 期作曲 田淵 宏幸

ヴィオラダガンバの関西での普及に務める。関西初のfolklore全曲を開催。日本初のヴィオラダガンバ用の練習曲を作曲・出版。またヴィオラダガンバ教則本を製作中。日本ヴィオラダガンバ協会会員。

ヴァイオリン・作曲で卒業後、イタリアへ留学し、ヴィオラダガンバ・バロックヴァイオリンで卒業。ヴェネツィアで行われた音楽学校代表者による演奏会時、ローマ広場より演奏会場まで全員で楽器を持って移動し、運河は小型の船 (ヴァポレット) を使って渡った。

写真左より、ティンパニ、チェンバロ、チェンバロの台、譜面台たち。奥にサンマルコ寺院の記念塔が見える。

4 6 期ピアノ 宮武 亜紀

卒業してから、早くも 1 0 年余りの月日が経ちました。学生時代は毎日が音楽に溢れ、仲間と音楽 (や、それ以外の事も !!) を語り合ったり、授業の合間に初見大会をしたり、楽しく充実した日々でした。

通学に 2 時間かかり、マンション住まいだったため、自宅であまり練習できなかったのも、ピアノ科では珍しく、終バス (9 : 1 9 通称クイック) まで学校に残ってピアノを弾いたりもしていました。時々、下宿している友達の家に泊めさせてもらったりもして、それも今では楽しい思い出です。

卒業後は、ヤマハの楽器店と短大の保育科で指導をしながら、ホテルやレストランで演奏したり、ソロやアンサンブルでもちょこちょこ舞台上に立たせてもらってました。

お知らせ

次回会報より、右の会員券は無くなります。真声会会員証の提示で無料となりますので、会員証をお使い下さい。ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

良かった！と久々に思えた出来事でした。

今や高校で教えた生徒たちが続々と京芸で学んでいます。大学生になった彼らを見ていると、色々楽しかった事ばかり思い出します。私もあの楽しかったころのように、もう一度どっぴりと音楽で溢れる生活をするのが夢です。

将来は子供達が音楽を好きになってもらえるような活動をしたい。

<http://tabuchihiroyuki.jimdo.com/>



ところが、結婚・出産してからは、生活スタイルがガラリと変わります。

現在は、二人の子供の育児に奮闘しながら、ボチボチ音楽活動も続けています。障害を持って生まれた長女のために、子供向けのコンサートや、通院している病院でのロビーコンサートを行ううちに、音楽の本質とは何かを考えるようになりました。

今までは、どちらかという自己研鑽と思ってやっていた音楽ですが、人々に喜んでもらえるような、人の役に立つような音楽活動を、模索していきたいと思っている今日この頃です。

京都市立芸術大学音楽学部 第 145 回定期演奏会

音楽学部同窓会真声会 会員券
(会員以外の方も、ご利用可能です)

2013 年 11 月 28 日 (木) 18:30 開演 / 17:30 開場
京都コンサートホール大ホール

4 6 期ピアノ 川人 (仲) 香織

早いもので、卒業して 10 年近い歳月が経とうとしています。兵庫県立西宮高校音楽科、京都芸大、同大学院と、9 年間毎日共に切磋琢磨してきた友人と離れ、「30 歳までは弾き続けたい」と、自分に負担にならない目標を立てて卒業しました。

小さい頃から音楽の教科書に載っている伴奏を家で弾くことが好きで、高校生の頃の夢は、室内楽奏者になること。大学在学中から伴奏で声を掛けていただくこともあり、これが仕事になればどんなにいいかと思っていました。

27 歳のある日、右手に異変。朝起きたら手が開けなくなっていました。腱鞘炎です。針、お灸、整体、接骨等色々試す日々、弾くことができない現実。本当に辛く苦しい日々でした。しかしちょうどその頃、オーボエ奏者である主人と出会い、もう一度弾けるように

4 9 期声楽 森 季子

大学院の修了式が昨日のこのように感じます。修了して 1 年間のウィーンへの留学を経て、帰国後の演奏活動の拠点として決まったのが、びわ湖ホール声楽アンサンブルです。所属して 5 年半になりますが、メンバーとして出演したオペラや演奏会 200 公演ほどになりました。改めて数字にしてみるとすごい数だと感じますが、どの公演もわりと細かいところまで記憶しているものです。(本当です。)

全ての公演がいまの自分へと繋げてくれた尊いものでありますが、自分の人生にいい意味のショックを与えてくれた公演が、2012 年の 3 月に牧童役で出演した「タンホイザー」です。東日本大震災のちょうど一年後で、ちょうど震災のあった時刻に牧童 (私) が「Betet fuer meine arme Seele(私の憐れな魂のために祈ってください)」と歌うのです。

ウィーンに住んでいた頃、よく教会を訪れては音楽

5 2 期ピアノ 佐竹 祐介

僕は子供のときから、合奏というものが大好きでした。音楽の時間に、友達とリコーダーやピアノカやギターと一緒に演奏することが、学校での一番の楽しみ

なりたい、弾けるようになって共演したい、と立ち直るきっかけをもらいました。

おかげさまで、今は小指以外はほぼ元どおりになり、自分の手や共演者と相談しながら室内楽やオーケストラで、ピアノやチェレスタを弾く毎日を過ごしております。オーケストラでの仕事では、音に包まれる感覚や、伴奏の仕事では出会うことがなかったピアニストと隣り合わせで弾かせてもらうことにより、驚きと感心、新たな発見の連続で、音楽の奥深さと楽しさを経験させてもらっております。

今秋からは、高齢の私の両親と同居することになり、主人との 4 人での新しい生活が始まります。これからは、ずっと見守ってくれた両親への感謝を込め、1 日でも長く音楽に携わっていけたら、と思っております。

は祈りそのものだと感じていました。そしてそれはずっと自分の中にあるひとつの答えでした。…牧童は、決して悲しくならないように、大切に、祈るように歌おうと決めていました。ワーグナーの壮大なオペラの中にあるほんの一節の無伴奏の旋律は、今後も私自身の中に流れ続けてゆくのだろーと思います。

沢山の作品やひととの出逢いの中で、自分の歌の根源となるものが少しずつ増えてきます。そして、舞台に立つたび、その根源なるものが確かなものになってゆきます。沓掛の景色もそのひとつ。講堂のにおいを思い出すと初心に還れる…とか (笑)。この原稿を書いていたら、何だか色々な事に思いを馳せてしまいました！…さて、まだ前進の途中の私は、振り返っている場合ではありませんので、とりあえず今から練習します。皆さんも、どうかお元気で！！

でした。中学時代にはバンドを組んでドラムを叩きました。そして高校入学と同時に吹奏楽部に入り、打楽器を担当しました。吹奏楽部では、壮大なブラス・サウンドに自分が加わる喜び、他の楽器とのリズムの駆け引き、一つの音楽をメンバー全員で共有する喜びにのめり込んでしまいました。アンサンブルすることを通じて、音楽というものに開眼してしまったのです。不幸の始まり (! ?) です。

その後、最も身近な楽器だったピアノを使って音楽の道に進むことを決意し、京芸のピアノ科に運よくも進むことができました。現在は幸いにもピアノ弾きとしての毎日を送ることができています。

しかし振り返ってみると、自分がピアノという楽器を選んでいるということに特別な意味はそれほどないように思えます。何かのきっかけ次第では、もしかしたら別の楽器をやっていたのかも知れません。

ピアノという楽器そのものに自分の音楽家としての原点はさほどなく、そのことよりも、少年時代に味わった合奏の楽しさが自分の原点としてあるように思えます。

5 2 期クラリネット 小川 (中井) 絵理

大学を卒業して早 7 年。これまでの歩みといっても、決してドラマチックなものではないが、振り返る機会をいただいたことに感謝し、筆をすすめたいと思う。

大学卒業後は、コンクールやオーディションを受け、フリーランスとしての演奏活動が続けてきた。演奏の仕事がほとんどない時に、多くの先輩方から「京芸の後輩だから」という理由でオケに呼んでいただき、大きな舞台にも立たせてもらうなど貴重な経験をさせていただいた。と同時に、「京芸」の結びつきの深さを強く感じる事ができた。

その後、演奏や音楽講師としての仕事が少しずつ増え、軌道に乗ってきたかな？と感じ始めてきた矢先、私の人生にとって大きな転機が訪れた。滋賀県立高校の採用試験に合格し、音楽科教諭として採用されたのだ。「自分に高校教師という職業が務まるのか」という大きな不安もあったが、「音楽を通じて生徒たちの

5 7 期ピアノ 生田 智子

私は現在ドイツの大学院に留学しています。尊敬する先生から、歴史的事実に基づいた論理的な曲の解釈の仕方や、ピアノ本来の音の出し方を指導していただいています。学校の近くにある劇場では気軽にコンサートやオペラを鑑賞することができ、偉大な音楽家が実際に滞在した場所を見学することもできます。このような素晴らしい環境の中での充実した留学生活が、私にとって重要なものになると確信しています。ドイツでは、クラシック音楽に対する敷居が低く、人々の生活に音楽が入り込んでいると感じます。学校での学生のコンサートにはいつもたくさんの市民の方が来てくださり、コンサート終了後には演奏した私たちに気軽に声をかけてくださって嬉しいです。(その度に、語学をもっと頑張らなければ！と思うのですが…) また、海外に出るにあたり、大学 4 年間日本の古都

現在、よく頂く仕事の一つに、オーケストラの中のピアノ・パート (オケなかピアノ) があります。もちろんレパートリーも、演奏に求められる内容も、高校時代の吹奏楽部でやっていたこととはかけ離れたものですが、吹奏楽部時代に覚えた合奏の前のゾクゾクする感覚は、今でもオケの練習場に入るときに呼び覚まされるのです。

自分の音楽家としての根っこの部分は、高校時代から変わらずに残っているようです。オケなかを弾くときも、室内楽を弾くときも、一人でショパンを弾くときも、この原点は忘れずに音楽家として生きていきたいです。

心に残る何かを伝えたい」という思いで教員生活をスタートさせた。現在の赴任先では、授業の中で音楽を教える時間よりも、生活指導をする時間の方が多いように感じる。学校での日々は慌ただしいものではあるが、生徒たちの成長する姿に勇気をもらいながら教員生活を過ごしている。また、放課後の時間は吹奏楽部の顧問として、1 2 人の生徒たちと愉しく音を奏で、部活動に励んでいる。昨夏のコンクールでは滋賀県代表として関西大会にも出場することが出来た。少人数ではあるが、パワフルに活動する彼女たちからは日々元氣と癒しを与えてもらっている。

振り返ってみると、「京芸」で学んできた 4 年間で現在の私の人生に大きく関わっているのだと改めて実感することができた。これからの人生においても「京芸」で学んだ財産を生かして過ごしていきたい。

に住み、京都を歩いたことを、とても幸せに思っています。語学学校での自分の国について紹介する課題で、私は日本の四季をとりあげ、京芸の学生時代に撮った写真を使いました。京都の歴史的な建物や庭園と、桜や新緑、紅葉などの美しい写真は、日本の四季を紹介するのに相応しく、その美しさを伝えることができたと思います。沓掛は、京都市内といえども観光客の集まるような場所からは少し離れていますが、静かで落ち着いていて、猿も出るような (!) 自然の中にある京芸に愛着を持っています。そんな京芸も私たちの卒業後に法人化し、学生にとって嬉しい変化も耳にしました。卒業しても、母校の発展は嬉しいものです。これからの京都芸大の益々の発展を願いつつ、私も京芸の卒業生として堂々と頑張ります。



真声会 各支部活動報告

滋賀支部

滋賀支部演奏会「湖のしらべ」も第 2 5 回となり、5 年毎の記念演奏会として、来る 1 1 月 2 4 日 (日) にしがぎんホール (浜大津・滋賀銀行本店 2 F) にて、 1 4 時開演で開催します。

第 1 部は新人・若手のソロで、第 2 部は G. ヴェルディ生誕 2 0 0 周年記念 -- オペラの名曲を集めて -- と題し、「リゴレット」よりジルダのアリア、リゴレットのアリア、四重唱、「椿姫」より乾杯の歌、そして最後に出演者全員で、「ナブッコ」より合唱「行け、我が想いよ、金色の翼に乗って」を演奏します。是非ご来場下さい。

第 1 部出演者

ソプラノ独唱 松崎絵美さん (5 8 期) クラリネット独奏 松本彩さん (5 8 期)

バリトン独唱 下林一也さん (5 6 期) ピアノ独奏 菱谷祐衣さん (5 8 期)

ピアノ伴奏 市川未来さん (賛助)、菱谷祐衣さん、松田千夏さん (5 3 期)

第 2 部出演者

ソプラノ 中安容子さん (4 2 期) 松崎絵美さん

メゾソプラノ 福島あかねさん (4 3 期)

テノール 清水俊徳さん (賛助) バリトン 下林一也さん

ピアノ 松田千夏さん クラリネット 松本彩さん

ヴァイオリン 桑名しのぶさん (4 7 期)

編曲 山田幸子さん (3 7 期) その他飛び入りもあるかも・・・お楽しみに。

支部長 杉中 博 (19 期 Tp)

中部支部

去る 5 月 19 日 (日)、第 4 回中部支部総会・懇親会を開催致しました。お忙しい中、総会、懇親会とも 10 名の方々が出席して下さいました。支部設立 4 年目ともなれば会員皆さまのご理解、意識の高まりも一層感じられるようになり、今年はさらにパワーアップした内容で盛りあげることが出来ました。総会では 2012 年度活動報告、会計報告、2013 年度活動方針、予算案の審議の結果、異議無く承認いただきました。

また、恒例の「ミニ・コンサート」の替わりに今回は、今後の支部のあり方を話し合う「フリー・トーキング」を行い、日頃の皆さまのご意見、また予てから話題にのぼっていました支部主催の演奏会開催に向けて意見を出し合いました。総会終了後の懇親会も、総会には出席されなかった方もご参加下さり、和やかな中にも熱気あふれるひとときを過ごしました。8 月発行の「真声会中部支部会報 NewsLetter 第 7 号」にてそれら内容を、現会員 189 名全員 (宛名不明会員 4 名除外) にご報告致しております。

支部後援の演奏会として 9/12 (木)、愛知県刈谷市総合文化センターアイリス小ホールにて森由紀子さん (52 期 Vn) と坂井佑理子さん (53 期 P) がジョイントコンサートを開催されました。素晴らしい音楽力の発信はもちろんのこと、地元地域を大切に活動される意気込みが感じられました。演奏会案内や演奏会報告も少しずつ支部に寄せられるようになりましたが、お互いの活動状況を身近に知っていただくためにこれからもどしどし情報提供をお願い致します。

今後は、主に支部主催の演奏会に向けて具体化をすすめていきますが、同窓会の特性が活かされた、幅広い卒業期、専攻、経歴、形態などの融合から生まれる作品づくりが楽しみとなることを願っています。それには若い方々の支援も必要となります。みなさまのご協力をよろしくお願い致します。

来年度は早、支部設立後 2 回目の委員互選の年にあたります。新しい風を吹き込んでいただきたく自薦、他薦をお待ちしています。飛躍の年になりますよう会員同士の輪を広げてまいりましょう。

支部長 中島百合子 (19 期作曲)

京都支部

真声会京都支部が発足して、今年で丁度 25 年が経ちました。発足当時は場所を変えながら年 2 回行っていましたプロムナード・コンサートも、その後、年 1 回の開催になり、2000 年の第 17 回から府民ホール・アルティでの開催が定着し、今回で第 30 回を迎えました。第 30 回を記念して、去る 9 月 15 日 (日) にプロムナードコンサートを開催しました。台風 18 号が接近しているというニュースに心配しながらも、当日は多くのお客様にご来場頂き、お陰様で無事盛会裡に終えることが出来ました。

翌日の 16 日には、台風の影響での豪雨による桂川の氾濫から、嵐山・渡月橋付近の浸水の状況を初め、京都府各地の豪雨被害ニュースに驚くばかりでした。もし開催日が 1 日ずれていたら、交通機関も不通になり、プロムナードコンサートもどうなっていたことでしょうか！？

今回は第 30 回という記念すべき年でもあるため、特別企画としての作品発表で、野田憲太郎氏 (44 期) が 2012 年にロシアのサンクトペテルブルクでのプロコフィエフ国際作曲コンクールで最高位を受賞された「独奏チェロのためのソナタ」を、江口陽子さん (51 期) の演奏で初めて聴かせて頂き、会場を暗くしたスポットの中で、難しい幻想的なチェロの独奏曲を見事に演奏された江口さんと、作曲者に大きな感動を受けました。演奏後、ステージで野田氏よりこの度の作曲についての挨拶があり、更に会場が盛り上がりました。また竿下和美さん (42 期) のピアノ独奏、宅野みどりさん (40 期) のヴァイオリン独奏 (ピアノ／木下亜子さん 40 期)、山下由香さん (26 期) のピアノ独奏、そして作品発表のあと、指揮／小原裕之氏 (56 期)、ピアノ／杉山佳子さん (12 期) で、今回は 30 回を記念して公募参加出演の 4 名のご協力を戴いて、女声合唱団の「コール真声会」によります、フォーレの「レクイエム」、故矢田部 宏氏 (3 期) の女声合唱曲から抜粋の合唱等々、初めから終わりまで多彩なプログラムで、それぞれの会員の素晴らしい演奏に対して、ご来聴頂きました皆様に大変喜んで頂くことが出来ました事を本当にうれしく思っています。

この第 30 回記念コンサートをまた新たなスタートラインとして、今後も益々京都支部活動を充実させて行く事が出来ますよう、一同心を合わせて取り組んで参りたいと思います。

☆真声会京都支部ホームページ <http://shinseikai-kyoto.com/> 支部長 山田晏子 (10 期声楽)

関東支部

これまでの関東支部のコンサート活動はもっぱら東京都内でしたが、2013 年 8 月 25 日、ついに群馬へ進出しました。ピアノ科有志で結成されているピアノアンサンブル doux の高崎公演が実現したのです。もちろん、毎年行っている日比谷・松尾ホールでのコンサートも 7 回目を迎え、シューマンのピアノコンチェルトを独自に 2 台のピアノのためにアレンジしたものや、サンサーンスの動物の謝肉祭を朗読付きで演奏するなど、趣向を凝らして好評を得ました。

高崎でのコンサートのきっかけを作ってくださったのは群馬在住の小松久美さん (27 期ピアノ) です。彼女と日頃共演していらっしゃる地元の声楽家小池静香さんに語りをしていただいて、doux オリジナルのピーターとオオカミ (プロコフィエフ) などを演奏しました。また、やはり地元群馬の銅版画家糸井千恵美さんによるピーター他登場する動物たちを描いた幻想的な作品もプロバイダーで同時紹介され、会場には彼女の作品の数々が展示されてまさに美術と音楽のコラボレーション！満員のお客様とともに楽しい時を過ごすことができました。

11 月 4 日には、かつしかシンフォニーヒルズ・アイリスホールにて、第 18 回定期演奏会が開催されます。嬉しいことに、今年また新たに宇野徹哉さん (28 期声楽) という心強い出演者に加わっていただくことになりました。少しずつメンバーを増やし、活動範囲を広げ、支部活動を活性化できたらと思っています。

さらなるステップアップのきっかけにしたいと取り組み始めているのが、2 年後の支部開設 20 周年の記念コンサートです。これまでの活動の成果が見えるように、またクオリティーの追求、外に向けてのアピールなど、さまざまな問いかけを繰り返しつつ、会員の皆さんの声に耳を傾けながら企画を練っているところです。関東支部らしい心に残るコンサートになればと願っています。

副支部長 曾我尚江 (27 期ピアノ)

奈良支部

2013 年 8 月 8 日開催いたしました真声会奈良支部第 15 回定期演奏会も大きな問題もなく、盛況に開催することができました。皆様本当にありがとうございました。

9 月 27 日に役員会を行い、定期演奏会の総括と今後の活動を話し合いました。本年中に奈良支部報 NARA 通信第 67 号発行を予定いたしております。
あと支部報には詳細を載せられると思いますが、来年 1 月 18 日にスタジオかまぼこにて音出し会の開催を予定いたしております。もしご興味等ございましたら、真声会奈良支部事務局 E-mail shinseikai_nara_shibu_info@yahoo.co.jp までお気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

支部長 菊田義典 (42 期声楽)

大阪支部

大阪支部の大プロジェクトとして臨んだ「第 10 回記念ブリリアントコンサート 2013」が 9 月 29 日 (日) いずみホールにて開催されました。当日は好天に恵まれ、心配された入場者も座席数の 7 割を超える 600 名余りの大盛況で成功裡に終えることができました。

会場には懐かしい顔がたくさん見られ、若い同窓生や現役の学生たちも駆けつけて舞台裏を支えてくれました。プログラムはバラエティに富んだ内容で、温かい拍手に迎えられた第 12 期生から第 53 期生の幅広い出演者たちは、進行役の中島慈子さん (10 期) に導かれて、スリリングな、また時に親密感に溢れた味わい深いステージを次々に繰り広げてくれました。終演後の楽屋出口周辺は出演者と同窓生や関係者で賑わい、去りがたい気持ちで会場を後にしました。10 回記念の同窓会にふさわしい京芸ならではの濃いコンサートだったと思います。

プログラム (演奏順) ライネッケ：オーボエ、ホルン、ピアノのためのトリオ op.188、ショパン：バラード第 4 番、小林秀雄：落葉松、平井康三郎：うぬぼれ鏡他、ストラヴィンスキー：ペトルーシュカからの 3 楽章、ラヴェル：「スペイン狂詩曲」からハバネラ、ラ・ヴァルス、高山惇 (17 期)：歌曲集「じゅうにつき」から「ろくがつ」他、ドヴォルザーク「ジプシーの歌」、同、ピアノ五重奏曲第 2 番より
出演者 前号記載の通り

遡って、6 月 30 日 (日) には、南森町近くの「モーツァルトサロン」＜飯田真基さん (17 期) の会場ご提供＞にてサロンコンサート兼大阪支部総会が開かれました。コンサートでは鷹真佑子さん (56 期)、入谷幸子さん (51 期) が見事なピアノ独奏を、中島慈子さん (10 期) が大富栄里子 (28 期) のピアノでしっとりと日本の歌を披露し、続いて大村益雄さん (1 期会長、大阪支部長) の記念講演として、これまでの京都芸大の歩みとこれからの展望、また欧米の音楽教育のお話などをされ、日本の音楽教育がどうあるべきか、など興味深い内容に 60 人近い人たちが聞き入りました。そのあと向かいの喫茶店に移って議事総会、軽食を取りながら親睦を深めました。

上記 2 回のコンサート開催に伴い会報第 98 号が 6 月 1 日、第 99 号が 8 月 10 日に発行されました。久しぶりに精力的に活動できた年になりました。この勢いを失わず来年も先輩と後輩の交流を深め、お互い協力しながら有意義な活動を行っていきたいと思っています。

支部への入会、お問い合わせは大阪支部事務局へ。

545-0004 大阪市阿倍野区文の里 4 の 12 の 25 樋口博行方 TEL & FAX
06-6624-3425

副支部長・企画担当 大富栄里子 (28 期ピアノ)

《京芸だより》

～定期演奏会を聴きにいらしてください～

来る 11 月 28 日、京都市立芸術大学第 145 回定期演奏会が京都コンサートホール大ホールで行われます。卒業生の皆様、在校生の演奏をぜひ聴きにいらしてください。

京都市立芸術大学第 145 回定期演奏会

日時：平成 25 年 11 月 28 日 (木) 午後 6 時半開演 (午後 5 時半開場)

午後 5 時 45 分からホワイエにて、柿沼敏江教授によるプレトーク&プレコンサートを開催

会場：京都コンサートホール・大ホール

曲目：千住明／オペラ万葉集～二上挽歌編～〈オーケストラ・バージョン、2013〉

○ レスピーギ／交響詩「ローマの噴水」

○ レスピーギ／交響詩「ローマの松」

指揮：大友直人 (本学客員教授)

ソプラノ：小濱妙美 (本学准教授)

アルト：福原寿美枝 (本学非常勤講師)

テノール：北村敏則 (本学准教授)

バリトン：折江忠道 (本学教授)

※トーク：千住明

管弦楽：京都市立芸術大学音楽学部・大学院管弦楽団

入場料：1200 円 (全席自由) ※真声会会員は会員証提示により無料

お問い合わせ：京芸教務学生支援室 (事業推進担当) 075-334-2204

チケット発売：京都コンサートホール (075-711-3090) 9 月 24 日 (火) から発売

真声会会員の皆様は**会員証の提示により無料で**ご入場いただけます。

会場受付にて卒業・終了期、専攻、お名前をお知らせ下さい。また、会報に印刷されている真声会会員券をご利用下さい。この会員券は、会員様ご家族、友人知人のご利用が可能です。皆様のご来場を心よりお待ちいたしております。
※会員券チケットは、11 ページにございます。

真声会後援の演奏会

♪第 5 回公演 コチの会・東風 踊るリズム 家庭交響曲

日時：2013 年 7 月 15 日 (月・祝) 16:30

会場：茨木市市民会館ドリームホール

出演：熊谷美紀 (31 期作)、加藤ユミコ (32 期作)、他

曲目：熊谷美紀：ティクリン 加藤ユミコ：遙遊 他

♪五人展

日時：2013 年 7 月 26 日 (金) 18:30

会場：京都文化博物館 別館ホール

出演：附田恵里子 (21 期 Vo)、阿部千鶴 (27 期 Pf)、水間博明 (27 期 Fg)

曲目：A. ピアソラ：「四季」より春 ヘンデル：「泣かせて下さい」
ブッチーニ：「歌に生き、愛に生き」

♪真声会奈良支部第 15 回定期演奏会 なら de クラシック

“夏休み！！おやかで楽しむコンサート♪”

日時：2013 年 8 月 8 日 (木) 14:00

会場：秋篠音楽堂 出演：竹吉さやか (33 期 Vn)、小山佳子 (20 期 Vn)、西園真里 (31 期 Vn)、半田ひろ美 (45 期 Vc)、岩本美穂子 (36 期 Ob)、花房英里子 (57 期 Vo)、豊住征子 (11 期 Vo)、菊田義典 (42 期 Vo)、岩谷寿美子 (30 期 Pf) 他

曲目：バッハ：G 線上のアリア モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジークより第 1 楽章 パッヘルベル：カノン 他



♪ワイマールから届く“歌の饗宴”

日時：2013 年 8 月 18 日 (日) 19：00

会場：紀南文化会館小ホール

出演：楠本未来 (49 期 Vo)、吉田昌樹 (50 期 Vo)、松浦紫陽 (49 期 Pf) 他

曲目：R. シュトラウス：乙女の花 op.22 越谷達之助：初恋 山田耕筰：からたちの花 他

♪マリエッタ・ツムビュルト女史による♪声楽公開レッスン♪

日時：2013 年 8 月 20 日 22 日 23 日 24 日 11：00～14：00、15：00～17：00

会場：インテリジェントスペース「ユーフォニアム」

出演：講師：マリエッタ・ツムビュルト、通訳：楠本未来 (49 期 Vo) 受講対象者：声楽テクニックの向上を希望する声楽家、またドイツへの留学を考えている高校生、大学生

♪下林綾ピアノリサイタル

日時：2013 年 8 月 27 日 (火) 18：00

会場：和歌山県立図書館 メディアアートホール

出演：下林綾 (58 期 Pf)

曲目：モーツァルト：ピアノソナタ第 17 番 K.576 ベートーヴェン：ピアノソナタ第 7 番 op.10-3 第 1 楽章、第 16 番 op.31-1 第 1 楽章 シューマン：謝肉祭 op.9 他

♪佐藤裕美子ピアノリサイタル

日時：2013 年 9 月 1 日 (日) 14:00

会場：兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

出演：佐藤裕美子 (39 期 Pf)

曲目：ブラームス：6 つの小品作品 118 バッハ＝ブゾーニ：シャコンヌ シューベルト：幻想曲ハ長調「さすらい人幻想曲」他

♪大概知世、坪内久美ジョイントリサイタル

日時：2013 年 9 月 12 日 (木) 19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

出演：坪内久美 (43 期 Pf)

曲目：J.S. バッハ＝リスト：オルガンの為の前奏曲とフーガイ短調 BWV543 シューベルト：さすらい人幻想曲 他

♪2 台のピアノのコンサート “SOUND of Colours”

日時：2013 年 9 月 13 日 (金) 19：00

会場：秋篠音楽堂

出演：江口恭子 (37 期 Pf)、櫛紀子 (37 期 Pf)

曲目：プーランク：シテール島への船出 アレンスキー：組曲 第 1 番 op.15 グラスタヴィーノ：3 つのロマンス 他

♪京都市立芸術大学音楽学部同窓会真声会京都支部による第 30 回記念プロムナードコンサート

日時：2013 年 9 月 15 日 (日) 14：00

会場：京都府民ホール アルティ

出演：竿下和美 (42 期 Pf)、宅野みどり (40 期 Vn)、木下亜子 (40 期 Pf)、山下由香 (26 期 Pf)、江口陽子 (51 期 Vc)、コール真声会

曲目：リスト：巡礼の年第二年より「タランテラ」フランク：ヴァイ オリンソナタ ブラームス：幻想曲集 op.116 他

♪下野依子&秋本悠希ジョイントリサイタル ～フルートと声楽の魅惑の夜～

日時：2013 年 9 月 15 日 (日) 18：00

会場：京都市立京都堀川音楽高等学校 音楽ホール

出演：下野依子 (56 期 Fl)、市川未来 (56 期 Pf)

曲目：吉松隆：デジタルバード組曲 C. ライネッケ：ソナタ「ウィンディーネ」 op.167 M. ラヴェル：「シェエラザード」より魅惑の笛 他

♪向井悠 ソプラノ・リサイタル

日時：2013 年 9 月 16 日 (月・祝) 14：00

会場：姫路キャスパホール

出演：向井悠 (54 期 Vo)、寺嶋千紘 (56 期 Pf)

曲目：W.A. モーツァルト：すみれ F. シューベルト：ます J. ブラームス：甲斐なきセレナーデ 他

♪初秋の午後のデュオ ～1 番のソナタ達～

日時：2013 年 10 月 6 日 (日) 14：00

会場：ミューザ川崎 市民交流室

出演：鈴木梨津子 (24 期 Vn) 他

曲目：ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ第 1 番 フォーレ：ヴァイオリンソナタ第 1 番 ブラームス：ヴァイオリンソナタ 第 1 番「雨の歌」

♪井上久美子ソプラノリサイタル

日時：2013 年 10 月 6 日 (日)15:00

会場：青山音楽記念館

出演：井上久美子 (23 期 Vo)、青木恵子 (16 期 Pf)

曲目：ハイドン：オラトリオ「四季」よりアリア「なんとと爽やかな感じでしょう」 シューベルト：ズライカ、ズライカⅡ グノー：歌劇「ファウスト」より“宝石の歌” 他

♪オクトーバー コンサート ピアノ・クラリネット・ソプラノ

日時：2013 年 10 月 6 日 (日) 15：00

会場：兵庫県立美術館 アトリエ 1

出演：中井美内子 (35 期 Vo) 他

曲目：F. シューベルト：岩上の牧人 F. レハール：「ジュディッタ」より 私の唇は熱いキスをする F. カールマン：「チャルダッシュの女王」より 私の故郷は山にある 他

♪蜂谷葉子・大岡真紀子ピアノデュオの魅力 vol.7

日時：2013 年 10 月 27 日 (日) 17：30

会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演：蜂谷葉子 (29 期 Pf)、大岡真紀子 (29 期 Pf)

曲目：ドビュッシー：リンダラハ、牧神の午後への前奏曲 ラヴェル：ダフニスとクロエ、交響的断章第 2 組曲 バックス：モイメル 他



♪真声会関東支部第 18 回定期演奏会

日時：2013 年 11 月 4 日 (月・祝) 14：00

会場：かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール

出演：熊谷房子 (1 期 Vo)、島津与外次 (5 期 Vo)、坪井フミ子 (8 期 Vo)、小松久美 (27 期 Pf)、曾我尚江 (27 期 Pf)、宇野徹哉 (28 期 Vo)、成島いずみ (30 期 Vo)、文野真理 (30 期 Vo)、田中伊知子 (31 期 Cl)、奥田章子 (32 期 Pf)、高橋知子 (32 期 Pf)、高橋律子 (34 期 Pf)、辻有里子 (48 期 Pf) 他

曲目：コルンゴルト：歌劇「死の都」より マリエッタの歌 本居長世：白月 シューマン：アベッグ変奏曲 op.1 他

♪「音の花束」～重なり合う音・ガラスが奏でる新しい響き～

日時：2013 年 11 月 4 日 (月・祝) 15：00

会場：シマブン BB プラザホール

出演：佐藤裕美子 (39 期 Pf) 他

曲目：タファネル：オペラ「ニヴァルのジャン」によるグランドファンタジー ショッカー：福建の 2 本のフルート ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー

♪北村奈美ヴァイオリンリサイタル

日時：2013 年 11 月 9 日 (土) 15:00

会場：ムラマツリサイタルホール新大阪

出演：北村奈美 (39 期 Vn)、中井由貴子 (40 期 Pf)

曲目：モーツァルト：ヴァイオリンソナタ第 28 番ホ短調 K.304 ブラームス：ヴァイオリンソナタ第 1 番ト長調 op.78「雨の歌」 バッハ：無伴奏ヴァイオリンの為のバルティータ第 2 番ニ短調より「シャコンヌ」 他

♪モナスティルスキー&高木知寿子ピアノデュオリサイタル

日時：2013 年 11 月 22 日 (金) 19：00

会場：京都府立府民ホール「アルティ」

出演：高木知寿子 (27 期 Pf) 他

曲目：ショスタコーヴィチ：2 台のピアノのためのコンチェルティーノ イ短調 op.94 シューベルト：4 手のための幻想曲 ヘ短調 op.103 D.940 ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー

♪関西ロシア歌曲研究会発足記念コンサート「チャイコフスキーを歌う」

日時：2013 年 11 月 22 日 (金) 19：00

会場：プチ・エル (エルおおさか)

出演：藤原さおり (46 期 Vo) 他

曲目：チャイコフスキー：ただ憧れを知る者だけが op.6-6 それは早春のことだった op.38-2 私は野の草ではなかったか op.47-7 他

編集後記

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました…と言いたい所ではありますが、激しい寒暖の差、皆様いかがお過ごしでしょうか。私の家族はとても汗かき一家です。口癖のように誰かが暑いと呟いています。そんな私、9 月にアルティにて本番に出演させて頂きました。演奏中に自分の顔の汗に溺れそうになりながらもなんとか無事終える事ができました。友人からあんなに汗飛び散らしてたの、S ちゃんだけやったよ！とお誉めの言葉を頂きました。早く寒い季節になって欲しいものです…(S)

♪ミュージアムコンサート vol.12 華麗なるショパン！

日時：2013 年 11 月 23 日 (土) 14：30

会場：世良美術館

出演：高橋宏明 (33 期 Vc)、武田佳美 (34 期 Pf)

曲目：ショパン：序奏と華麗なるポロネーズハ長調 op.3 ピアノソナタ第 3 番 ロ短調 op.58 チェロソナタ ト短調 op.65

♪糸井博己テノールリサイタル ダルトン・ボールドウィン氏を迎えてⅡ

日時：2013 年 11 月 24 日 (日) 14：30

会場：青山音楽記念館 バロックザール

出演：糸井博己 (21 期 Vo) 他

曲目：シューマン：献呈、きみは花のようだ、くるみの木、月の夜、我が悲しみの美しきゆりかご シューベルト：ます、夜と夢、旅人の夜の歌、月に寄す、ミューズの子 他

♪時は流れても・・・今宵集いて歌い奏でる

日時：2013 年 11 月 27 日 (水) 19：00

会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演：中井美内子 (35 期 Vo)、福永圭子 (35 期 Vo)、佐藤謙蔵 (35 期 Vo)、萩原寛明 (37 期 Vo)、土居知子 (35 期 Pf) 曲目：L.v. ベートーヴェン：遥かなる恋人に寄す op.98 R. シューマン：哀れなペーター op.53-3、はすの花 op.25-7、君は花のよう op.25-24 V. ベッリーニ：喜ばせてあげて 他

♪末岡智子ピアノリサイタル

日時：2013 年 11 月 28 日 (木) 19：00

会場：イシハラホール

出演：末岡智子 (36 期 Pf)

曲目：L. v . ベートーヴェン：ピアノソナタ第 30 番 ホ長調 op.109、第 31 番 変イ長調 op.110 J. ブラームス：ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ 変ロ長調 op.24

♪青山財団助成公演 上田晶子ヴァイオリンリサイタル

日時：2013 年 12 月 21 日 (土) 14：00

会場：青山音楽記念館 バロックザール

出演：上田晶子 (58 期 Vn) 菱谷祐衣 (院 1 回生 Pf)

曲目：L.v. ベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第 8 番 ト長調 op.30-3 H. ヴィエニャフスキー：創作主題による変奏曲 op.15 J. ブラームス：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第 1 番ト長調 op.78「雨の歌」 他

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

12 期声楽 武田 (青木) 治子さま

2013 年 1 月 16 日ご逝去

真声会

京都市立芸術大学音楽学部同窓会
Kyoto City University of Arts Alumni Association

発行所

真声会 京都市立芸術大学音楽学部内

〒610-1197 京都市西京区大枝杵掛町 13 番地の6

TEL : 080-6185-4494 FAX : 075-334-2345

e-mail : shinsei@kcua.ac.jp

HP : <http://www.shinseikai-kcua.net>

Facebook : <https://www.facebook.com/KCUA.AluminiAssociation.Shinseikai>